

# 「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

## ～「一番大きな・・・『いし』の話」～

今回は・・・ある大学の講義での・・・一番大きな『いし』の話です。では、どうぞ・・・

「さあ、クイズの時間だ！」

教授はそう言って大きな壺を取り出し、教壇に置きました。そして、その壺の中に一つずつ石を詰めていきました。壺が一杯になるまで石を詰めると、教授は聞きました。

「この壺はもう満杯か？」

教室中の学生が・・・「はい」と答えました。

「本当に？」

教授はそう言いながら、教壇の下からバケツ一杯の砂利を取り出して、壺の中に流し込みました。石と石の間を砂利が埋めていきます。

そして、もう一度聞きました。

「この壺はもう満杯か？」

一人の学生が・・・「多分違う」と答えました。

教授は、「そうだ！」

と笑い、今度は教壇の下から、砂の入ったバケツを取り出し、それを石と砂利の隙間に流し込み、3度目の質問をしました。

「この壺はこれで満杯になったか？」

学生たちは声をそろえて「いいえ」と答えると、教授は水差しを取り出し、水を壺のふちまでなみなみと注ぎ、その後こう言いました。

「僕が何を言いたいか、わかるか？」

一人の学生が・・・

「どんなにスケジュールが詰まっても、努力すれば予定を詰め込むことが可能だということですか？」

「それは違う！」と教授

「重要なポイントはそこではないんだよ。この例が私たちに示してくれているのは・・・

先に大きな石を入れないと、それを入れる余地がなくなってしまうということだ。

この壺は人生そのものを示している。

では、私たちの人生にとって「大きな石」とは何だろうか？

それは仕事であったり、志であったり、愛する人であったり、家族であったり、自分の夢であったりする。

つまり、『大きな石』は君たちにとって一番大切なものだ。

それを最初に人生の壺に入れなさい。

さもないと君たちは、それを永遠に失うことになる。」

「心にズドーンと響く「運命」のこぼば」ひすい ことろう（王様文庫）より



あなたの人生やこの県高での3年間の高校生活、この一年間の高校生活、今日という一日における・・・一番『大きな石』とは何でしょうか？一度考えてみませんか？『石』一番大きな・・・『意志』をそこに・・・。一番最初に、人生・高校生活・今日という一日の壺に入れてくださいね。

さあ、中間考査です。中間考査という壺に、最初に入れる一番大きなあなたの「石」「いし』『意志』は何ですか？

意志